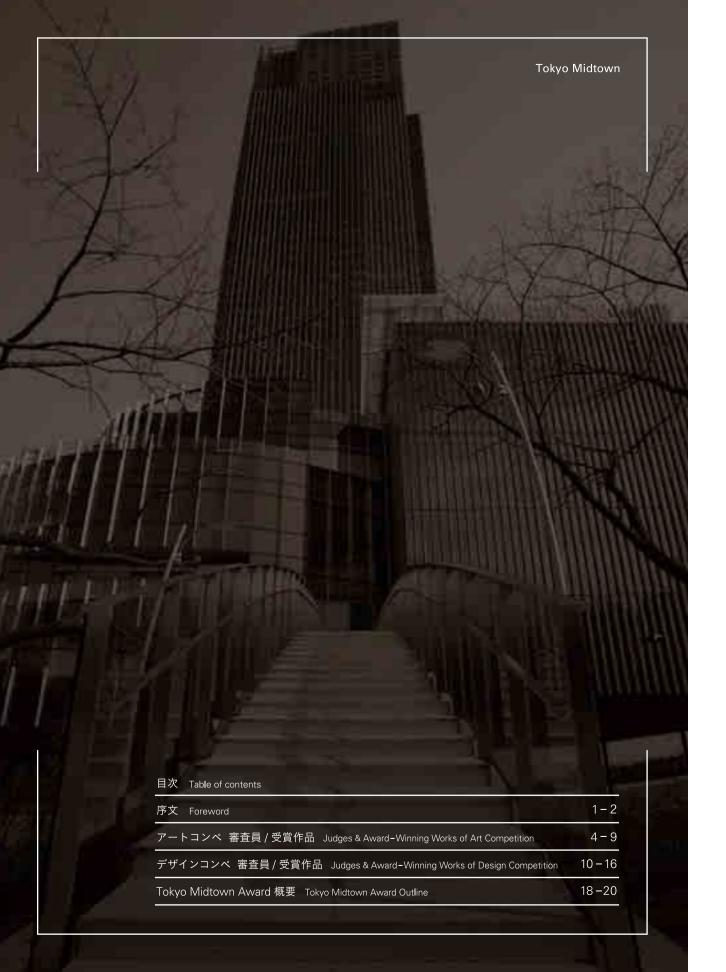


Tokyo Midtown Award 2010



#### 明日に輝く才能を育む「Tokyo Midtown Award」

#### 「Tokyo Midtown Award」は、未来の才能を応援しています

東京ミッドタウンでは、2008年から毎年1回、アートとデザインのコンペティション「Tokyo Midtown Award」を開催しています。街のコンセプト「JAPAN VALUE」を基軸テーマに、第一線で活躍するアーティスト、キュレーター、デザイナーの方々を審査員に迎え、学生から一般の方々にまで幅広く門戸を開放しています。この賞は、明日を担うアーティストやデザイナーの発掘と応援を目的としています。アートコンペでは制作補助金と東京ミッドタウン内のスペースを作品発表するチャンスとして受賞者に提供しています。一方、デザインコンペではテーマのみを提示し、自由な発想でのデザインを募ります。受賞者には商品化に向けた全面的なサポートを行っています。既に過去2回の実施で計5作品が商品化され、全国各地のセレクトショップなどで話題を呼んでいます。

# 東京ミッドタウンはアートとデザインの現在が集います

アートとデザインに満ちた街、東京ミッドタウン。感性を刺激する建築物やアートワークに彩られた緑豊かな街区内には「サントリー美術館」や「21\_21 DESIGN SIGHT」、「東京ミッドタウン・デザインハブ」が集結しています。また、周辺には国立新美術館、森美術館、根津美術館などのアート施設や40以上の各国大使館が点在しています。

この東京ミッドタウンで行われるイベントは、今や東京のアート・デザインシーンには欠かせません。春の「六本木アートナイト」では、主要拠点の一つとして参加型アート、音楽、映像、展覧会などを実施。六本木の特別な夜を彩ります。秋の「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」では、「Tokyo Midtown Award」をはじめとするデザイン展示やイベント、講演、ワークショップを展開。「未知なるデザインと出会う場」として注目を集めています。

#### "Tokyo Midtown Award" - nurturing talent that will flourish tomorrow

#### The "Tokyo Midtown Award" is aimed to support talent of the future

The "Tokyo Midtown Award" is an art and design competition we have been holding every year since 2008. The base theme of this award is "JAPAN VALUE" which is the core concept of Tokyo Midtown. The judges are artists, curators and designers working at the forefront of their various fields. The doors of the award are open wide, with applications from students and the general public being welcome.

The aim of the award is to discover and support artists and designers of the future. In the art competition, award winners are given production subsidies and space within Tokyo Midtown to show their work. In the design competition, we look for designs born from an unfettered imagination, and Tokyo Midtown fully supports award winners in making commercial products of their creations. As a result of the past two awards, a total of five works have been developed into products and are now sold in stores across Japan, attracting much attention.

#### Tokyo Midtown draws the latest in art and design

Tokyo Midtown where the "Tokyo Midtown Award" is held, is a town filled with art and design. Its streets are lined with trees, architecture and artworks that stimulate the imagination. Gathered here are the Suntory Museum of Art, 21\_21 DESIGN SIGHT, and Tokyo Midtown Design Hub. Dotted in the vicinity are other art facilities such as the National Art Center, Tokyo, the Mori Art Museum and the Nezu Museum, as well as more than 40 foreign embassies.

In such a venue that is made vibrant by the architecture and artwork of leading architects, artists and designers, we have been holding various events that have become an indispensable part of the Tokyo art and design scene. In the spring, Tokyo Midtown becomes one of the main venues for "Roppongi Art Night"—an evening event that livens up the town of Roppongi with participation-oriented art, music, visual arts and exhibitions. In the autumn, in parallel with the announcement of the winners of "Tokyo Midtown Award", "Tokyo Midtown DESIGN TOUCH" is held and many design exhibitions, events, lectures and workshops are held all over the town. This time of the year, the town becomes a place for people to meet as-yet-unknown designs.



www.tokyo-midtown.com/jp/award/

# Art Competition

# 審查員 2010

(敬称略/50音順)

Judges 2010

#### ■テーマ

# 「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」

- 募集期間:2010年6月1日(火) 6月30日(水)
- 審査員: 児島やよい、清水敏男、土屋公雄、中山ダイスケ、

4



児島やよい Yayoi Kojima

フリーランス・キュレーター / ライター / 慶応義塾大学、明治学院大学非常勤講師 代表作:「杉本博司 歴史の歴史」展(03)、「草間彌生 クサマトリックス」展 (04)、「ネオテニー・ジャパン 高橋コレクション」展 (08-10)

昨年にも増してレベルが高く、表現メディアも多様になり、楽しい 審査だった。が、ガラスケース、通路、という条件はやはり厳しく、 そこへの挑戦は容易ではないことも、審査の難しさとともに再 認識させられた。最終審査の4作品は、映像と、モノとしての力 との対比が興味深い展開となった。全体に、インスタレーション の意識や技術をもっと高めて欲しいところだが、結果的には、 自分の良さをのびのびと発揮できた作品が、力を得ている。

#### Freelance Curator / Writer

On the whole, I felt that applicants should be more conscious of the installation aspect of their works, and that they should also try to enhance their skills more. Ultimately, recognition was given to works in which their creators expressed their originality in an unconstrained way.



清水敏男 Toshio Shimizu

東京ミッドタウン・アートワークディレクター / 学習院女子大学教授 代表作:「超空間 INBETWEEN Kengo Kuma, Shiro Kuramata, Anish Kapoor」(10)、「金門玉堂(上海万博 日本産業館 トステムブース)」(10)

本年のアワードは応募用紙を見ただけで、かなりレベルが高く なったことを実感した。継続は力である。多くの応募者のなか から絞り込み、プレゼンテーションをへて展示にいたった各作品は、 どれも意欲的で、若いアーティストを支援するアワードの趣旨に そったものとなった。人通りの多いなかでどれだけ視線をひき つけられるかというのが「ガラスケースへの挑戦」であり、そして おおむね成功している。来年以降も大きな期待を寄せたい。

#### Creator / University Professor

The "glass showcase challenge" was about attracting attention as much as possible in a place where there are a lot of people, and I think the attempts to take on this challenge were largely successful. I have high expectations for the entries that will be made next year and beyond.



十屋公雄 Kimio Tsuchiva

彫刻家 / 愛知県立芸術大学教授 / 武蔵野美術大学客員教授 代表作:「記憶の場所」東京空襲平和モニュメント、場や歴史の記憶を 刻む作品等

応募総数357点のうち、10点が一次審査を通過、その中から4作 品が二次審査で絞り込まれた。すでに一次審査に残った作品群 は、それぞれが独自な世界観を持つ甲乙付け難い作品であり、この ことは公開審査においても明白であったと思う。今回の入選作品 は、映像、彫刻インスタレーション、アニメーション、メディアアートと 表現がバラエティーに富んでおり、プラザ地下通路を行き交う ギャラリーには、現代アートを多様に楽しんでいただけることだろう。

#### Sculptor / University Professor

Variety in expression was seen in the award-winning works this year, with images, sculpture installations, animation and media art being used. I am sure that visitors to the basement passageway of the Plaza will enjoy the multifaceted aspects of contemporary art.



中山ダイスケ Daisuke Nakayama

アーティスト / 東北芸術工科大学教授 代表作:「他者とのコミュニケーション」という一貫したテーマによるイン スタレーション、オブジェ、絵画、写真、ビデオ等

今年は映像作品2点と、光を使ったインスタレーション、立体 作品というラインナップでしたが、それぞれの展示ケースから 発せられる「声」は様々でも、やさしいささやきのような声質が 最終審査に揃いました。グランプリのきのしたさんの作品も、 決して大声の表現ではありませんが、六本木でこそ聴いてみたい 優しい声でした。困難なコンペでしたが、これだけ多様な表現が 集まる状況こそが大変貴重であると感じます。

#### Artist / University Professor

It was a difficult competition, but I think that an event like this one which gathers so many different kinds of artistic expression has tremendous value.



八谷和彦 Kazuhiko Hachiya

メディア・アーティスト 代表作:「視聴覚交換マシン」「見ることは信じること」「ポストペット」 「エアボード」「オープンスカイ」等

3回目にしてはじめてアニメーション作品がグランプリを受賞した。 実は、インスタレーションとしての完成度などについて審査委員の 間で議論があったのだが、完成度よりは作家の姿勢や内容、可能 性を重視する、という方向で決着した。ともあれ、厳しい条件の中、 チャレンジングな作品に挑戦し、きちんと完成させた4組の入賞 作家に対しては、最大限の感謝を捧げたい。ご苦労さまでした。 ありがとう。あなたたちの作品が多くの観客の心に届きます様に。

#### Media Artist

The conditions set were harsh, and yet the four award-winners made a bold challenge and completed their works properly. I would like to say a very big thank you to them who made a true effort. I hope that your creations will resonate with many people.

#### グランプリ / 春夏秋冬東京動画絵巻

Grand Prize / Animated Tokyo Scroll













きのした がく Gaku Kinoshita

アニメーション作家 / 1977年生まれ / Royal College of Art (イギリス) 修士課程アニメーション修了、Central Saint Martin's College of Art and Design (イギリス) 学士課程グラフィックデザイン卒業現代日本における春夏秋冬の世相が表現されています。誰にでもある日常的なシーンを捉えている作品。しかしどこかなつかしいような体験は、まるで時空を超えて存在する日本の原風景との出会いかもしれません。

Animation Artist / Born in 1977 / Everyday life of today's Tokyo is drawn in Japanese traditional print making style. The 4 displays represent 4 seasons. The Japanese timeless essences are captured in this 3-minute sequence.

#### 準グランプリ/あのなる木

Runner-up Prize / under 'A' tree









牧野 永美子・山崎 裕治 Emiko Makino / Yuji Yamasaki

牧野:彫刻家 / 1986 年生まれ / 多摩美術大学美術学部 工芸学科卒業 山崎: 学生 / 1986 年生まれ / 多摩美術大学大学院 美術研究科工芸専攻金属研究領域在籍 目の前に飛び込んでくるのは大きな"あ"のなる木、その足元を羊たちの群れが 歩いています。"あ"のなる木とは「あっ」という閃きの瞬間。「"あ"のなる瞬間の 感動を道行く人々とも共有できたら」という意図が込められています。

Makino:Sculptor/Born in 1986 / Yamasaki:Student / Born in 1986 / This is a tree on which "Ah" grows, with the "Ah" being the moment of inspiration. We hope that this work will make people who walk go "Ah", so that we can share the experience of being moved.

#### 佳作 / es.kei.wai Commendation Prize / es.kei.wai







photo by Masafumi Yasud

石山 和広 Kazuhiro Ishiyama

アーティスト / 1981年生まれ / 武蔵野美術大学建築学科卒業、東京藝術大学大学院先端 表現車攻修了

肉眼では決して捉える事のない空のイメージが目の前に広がります。それはまるで、空という名前を知る前に見たありありとした空。目の前に広がる空が別のものに見えた瞬間、空が特別な存在となるでしょう。

Artist / Born in 1981 / The vivid sky we looked at before we even learnt the word "sky." Unfolding here before our eyes are images of the sky that cannot be perceived by the naked eye alone.

#### 佳作 / その先にあるもの

Commendation Prize / The thing beyond it







井口 雄介 Yusuke Iguchi

アーティスト/学生/1985年生まれ/武蔵野美術大学建築学科卒業、武蔵野美術大学大学院 美術専攻彫刻コース修了、武蔵野美術大学大学院博士後期課程在籍

ガラスケースの中に浮かび上がった虹色の光の輪。鑑賞者の見る位置によってその表情を変化させ、思わず立ち止まってしまいます。その不思議な空間には現代社会のスピードとはあきらかに異なった時間が流れています。

Artist / Student / Born in 1985 / Rainbow-colored circles of light that float up the glass showcase. In this mysterious space, time clearly flows at a different speed than that of contemporary society.

8

# Design Competition

# 審査員 2010

(敬称略/50音順)

Judges 2010

■テーマ

#### 「On the Green」

ビクニック、屋外での読書、青空ヨガ教室、ジョギング――― 街の暮らしならではの、緑を楽しむ様々なライフスタイル。 そんな都心の上質な日常を彩る、緑があるシーンで活躍する デザインのコンペティションです。

- 募集期間:2010年8月2日(月) 8月31日(火)
- 審査員:小山薫堂、佐藤卓、柴田文江、原研哉、水野学
- ■賞

グランプリ(1点) \*1,000,000 準グランプリ(1点) \*500,000 佳作(1点) \*300,000 審査員特別賞(5点) \*50,000

- ※入選作品には商品化のサポートを提供します。
- ※入選作品は東京ミッドタウンプラザB1Fメトロアベニューに展示します。
  ※受賞者のプロフィールは応募当時のものです。

The theme was "On the Green." There are many kinds of lifestyles to enjoy greenery while living in the city. This competition was for designs suited to sophisticated everyday

Note: awardees' profiles are those that were submitted at the time of application.



小山薫堂 Kundo Koyama

放送作家 / 脚本家 / N35inc・(株)オレンジ・アンド・パートナーズ代表 / 東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科長 代表作:「カノッサの屈辱」「料理の鉄人」「ニューデザインパラダイス」

代表作:「カノッサの屈辱」「料理の鉄人」「ニューデザインパラダイス」 (以上、TV 番組)、「おくりびと」(映画脚本)、「いのちのかぞえかた」(絵本)

応募作品の多いコンペで最も重要なこと、それは「分かりやすく 伝えること」だと思います。そのためには、欲張らないこと。欲張 りすぎてたくさん伝えようとするほど、相手の目にはつまらなく 映ってしまうものです。見た瞬間に「素敵な何か」が感覚として 分かる…結局、最後まで残ったのはそういう作品だったと思います。それにしても、これほど審査していて楽しいデザインコンペ はない!応募してくださった全ての方に感謝しています。

Broadcast Writer / Scriptwriter / University Professor

I think in a competition with tremendous numbers of entries, the most important thing is to "convey your message in easily understandable way." The works that stayed with us till the end had that element. I am grateful to all the people who entered this competition.



佐藤 卓

グラフィックデザイナー / 佐藤卓デザイン事務所 代表取締役 代表作:「ロッテキシリトールガム」「明治おいしい牛乳」などの商品デザイン及び ブランディング、金沢21世紀美術館や国立科学博物館などのシンボルマーク等

On the Greenというテーマを、まずどのように解釈するのか。面白い視点だけでなく、技術面・コスト面など実現可能ラインとの折り合いをどうつけるのか。このようなアワードに作品を発表する場合は、他の人がやりそうなことはやらないという厳しい目が必要です。誰も思いついていないアイデアに辿り着くには、多くのアイデアを次から次に出すということだろうと思います。その中から、より革新的なものを選ぶという姿勢が大切だと思います。

#### Graphic Designer

In order to get an idea that no one else has thought of, you have to keep on producing new ideas one after another, and then you should choose the most innovative ideas out of all the ones you have come up with. I think it is important to take that kind of approach.



柴田文江 Fumie Shibata

インダストリアルデザイナー / Design Studio S代表 代表作:無印良品「体にフィットするソファー」、オムロン電子体温計「けん おんくん」、カプセルホテル「ナインアワーズ」

ほとんどの応募者が都会の中の「仕立てられた緑」をイメージしていたのか、同じアイデアや提案が驚くほど多かった。誰もが共感できそうなことでありながら、ユニークな回答を探すことの難しさを考えさせられた。デザインは詩に似ているかもしれない、誰もの心の中にある典型でありながら、表に出すことが難しい。独りよがりにならずに、深堀したテーマをわかりやすくシンプルに表すこと。高い評価を得た作品には、共通してそれが感じられた。

#### Industrial Designer

The key is to avoid being too caught up in your own view, and to express a theme that you have thought deeply about in a simple, easy-to-understand manner. The works which were rated highly were all made by people who had evidently done this.



原 研哉 Kenya Hara

グラフィックデザイナー/ 武蔵野美術大学教授 / 日本デザインセンター代表 代表作: 無印良品アートディレクション、1998年長野冬季オリンピック 開・閉会式プログラム、愛知万博プロモーション、松屋銀座リニューアル、 森ビル VI

「オン・ザ・グリーン」というテーマを、どうダイナミックにとらえるかという点で、面白い作品が多かった。新しい視点を探しつつも、商品として活躍できそうなイキの良いアイデアがそろって受賞したと思う。気持の良い審査だった。

#### Graphic Designer / University Professor

There were many interesting works that sought to convey the "On the Green" theme in a dynamic way. The award-winners were those who had discovered a novel perspective and at the same time, had come up with good, vibrant ideas that could be used for commercial products. It was pleasurable to be part of the judge.



水野 学 Manabu Mizuno

アートディレクター / クリエイティブディレクター / good design company代表 代表作: NTTドコモ「iD」、農林水産省CI、東京ミッドタウン、多摩美術大学、 宇多田ヒカル「SINGLE COLLECTION VOL.2」、国立新美術館「ゴッホ 展」、adidas、ルミネ、森美術館「ル・コルビュジエ展」等

作品数は1,354点、最低でも1,354回「オン・ザ・グリーン」を考えたことになります。それだけ多くの方々が緑と自分を考えたことに、このコンペティションの意義を感じます。チャリティーやエコは、着地点が難しい。一方向から見てしまうと、どこかで破綻が生じやすくなります。人と人、自然と人、自然と自然がどうシナジーして行くのか、行くべきなのかを考えさせられると同時に、未来が少し楽しくなりました。ありがとうございました。

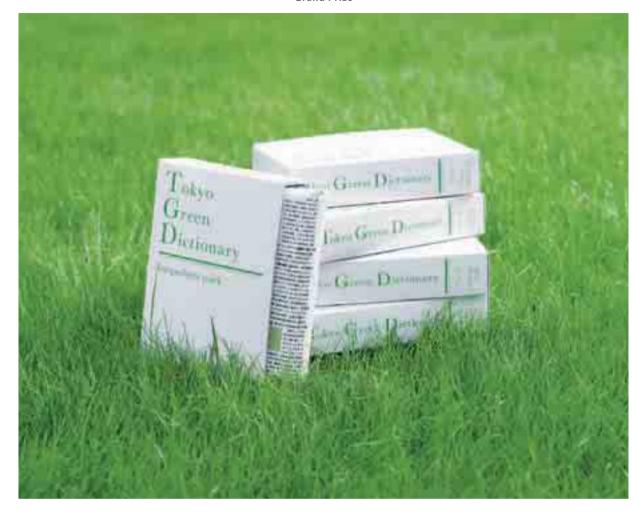
#### Art Director / Creative Director

This competition enabled me to think about the ideal form of synergy between people and nature, and between nature and nature, and what kind of future we should be heading for. It also helped me become a little more optimistic about the future. Thank you.

10

# グランプリ

**Grand Prize** 



# Tokyo Green Dictionary

都内の緑を場所ごとに分け、それぞれの緑の歴史や情報、生息している 動植物などを辞書としてシートに載せた。「緑の辞書」という知識を片手に緑 で横になり、自然を体感することで私たちに上質なひと時を与えてくれる。

Green of Tokyo is divided by the area, and each green history, information and flora and fauna etc. were put on a leisure sheet as a dictionary. Lying in green and experiencing nature with this "Green Dictionary" gives us time of fine quality.



ケースより広げられたシートは、1グ 横になりながらリラックスして読むこ リッド255×187mmの64グリッドで 構成された2040×1496mmのサイズ。 ながら知識を得る事ができる。



とにより、自然と密着し、緑を楽しみ



# 相馬 翔・齋藤 俊一郎・渡辺 博史・神保 雄大・齋藤 雄太

Sho Soma / Shunichiro Saito / Hirofumi Watanabe / Yuta Jinbo / Yuta Saito

大学の友人で立ち上げたチーム「TRsN」。「とり戻せ、青春。」をコンセプトに活動している5人組 多摩美術大学造形表現学部デザイン科在籍

The team "TRsN" is made up of college friends. The five-member team undertakes activities on the concept of "Reclaiming the spring of life."

# 準グランプリ

Runner-up Prize



#### パラシュートカメラ Parachute Camera

公園や広場で使う、パラシュート付きカメラです。思いっきり空に投げられた パラシュートカメラは、ゆらゆらと降りながらシャッターを切り続けます。上空 からの記念写真は、撮る行為も含めてとても楽しい思い出になるはずです。

This camera with a parachute attached to it, is meant to be used in parks and open spaces. The parachute camera is thrown far above toward the sky, and then it comes slowly floating down, while the shutter keeps clicking. In addition to the actual photographs that are taken, the act of taking photographs in the sky in this way will no doubt be very memorable.



斉藤 秀幸 Hideyuki Saito

家具デザイナー / 1981年生まれ 多摩美術大学プロダクトデザイン専攻卒業 Furniture Designer / Born in 1981



#### 佳作 Commendation Prize



# Looking For The Happiness



コンピュータ技術の導入が遅れている分野の一つ「幸せ探し」に最新技術を導入してみました。子供の頃、誰もが経験のある「四葉探し」をサポートするツールです。コンピュータ技術で見つける幸せがあってもいいじゃないか。

Society has been slow to adopt computer technology for the purpose of "searching for happiness", but I have made something that employs the latest technology with just that in mind. This is a tool to help people find a four-leaf clover-something that we have all done in our childhood. I think it is not a bad idea to have a computer look for something that makes you happy.



真宮 啓 Hiroshi Mamiya

システムエンジニア / 1983年生まれ System Engineer / born in 1983

### 審査員特別賞 小山薫堂賞 Judge's Special Prize by "Kundo KOYAMA"



#### dissue



tissue? dish? ティッシュをお皿 代わりに使うという日常の行為から発想したティッシュのお皿です。 お皿として使用した後は口をふい たり食べかすを拾ったりと一枚で 二つの役割をこなします。ティッシュのお皿でお手軽ピクニック。

Is this a tissue or a plate? People often use tissues to place something on it like a plate, and from this mundane act, I got the idea to make a tissue plate. After using it as a plate, you can use it to wipe your mouth or to collect the leftovers. So with this one plate you can do two things. How about going on a casual picnic with these tissue plates?



谷口 友里歌 Yurika Taniguchi

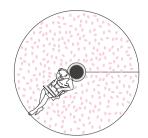
学生 / 1990年生まれ 京都造形芸術大学情報デザイン科 コミュニケーションデザインコース在籍 Student / born in 1990

# 審査員特別賞 佐藤卓賞

Judge's Special Prize by "Taku SATOH"



#### RING SHEET



樹の幹をぐるっと取り囲んで敷けるレジャーシートです。お花見のときは、桜の真下で車座になりましょう。もみじ狩りのときは、幹にもたれかかりながらゆっくりと読書ができます。自然とより一体感を得ることができるはずです。

This is a leisure sheet which can be placed right round the trunk of the tree. At a cherry-blossom viewing event, a group of people can sit in a circle right beneath the tree. In the autumn when the leaves turn red, you can lean against the tree and leisurely read a book. Using this sheet will allow you to feel more connected to nature.



# ninkimono! 今津 康夫・菅野 亘 Yasuo Imazu / Wataru Sugano

今津: 建築家 / 1976年生まれ 菅野: デザイナー / 1979年生まれ Imazu: Architect / born in 1976 Sugano: Designer / born in 1979

# 審査員特別賞 柴田文江賞

Judge's Special Prize by "Fumie SHIBATA"



# ムシホテル / Insect Hotel



捕らえた虫を閉じ込めるための虫 カゴを、愛でるための虫カゴにしま した。インテリアを奇麗に配置して、 ホテルのように捕らえた虫をおもて なしする。大人や女の子が昆虫採 集に出かけるキッカケになるので はないでしょうか。

Unlike baskets that are made to box in a captured insect, this is a basket made to admire the insect. The interior of the basket has been nicely made, so that a hospitable environment, like that of a hotel, can be offered to the captured insect.

I hope that this basket will encourage adults and girls to go looking for insects.



# 津田井 美香

Mika Tsutai

学生 / 1988年生まれ 京都工芸繊維大学在籍 Student / born in 1988

東京ミッドタウン・オーディエンス賞 / Tokyo Midtown Audience Prize

14

# 審査員特別賞 原研哉賞 Judge's Special Prize by "Kenya HARA"



#### 大の字シート / DAINOJI Sheet



芝生の上に大の字に寝転ぶのは 気持ちがいいものです。レジャー シートを大の字にすることで心置 きなく大の字で寝転ぶことが出来 ます。たくさんの人がこのシートを 使用することにより、あたかも芝生 に花が咲いていくようです。

It feels grand when you are lying on the lawn with your arms and legs flung out. This leisure sheet is shaped in the form of a human being in an eagle-spread position so that you can lie on the ground without reserve with your limbs outstretched. When many people use this sheet, it looks as if flowers have blossomed all over the lawn.



安田 直樹 Naoki Yasuda

デザイナー / 1974年生まれ 大阪工業大学工学部建築学科卒業 Designer / born in 1974

# 審査員特別賞 水野学賞 Judge's Special Prize by "Manabu MIZUNO"



# HAPPLE



HAPPLE-HAPPY×APPLEーはりんごの形をした音楽プレイヤーです。形がりんごなだけでなく、りんごのように枝にぶら下げて使います。緑の中ならではの音楽の楽しみ方を提供します。ピクニックなどで、楽しく素敵な時間を演出してくれます。

HAPPLE—HAPPY×APPLE is a music player shaped liked an apple. It not only looks like an apple, you use it by hanging it from a branch so it looks like the actual fruit. This is a unique way of enjoying music in nature, and is sure to make picnics and other pastimes charming and fun.



余川 郁 Kaoru Yokawa

学生 / 1992年生まれ 都立工芸高校インテリア科在籍 Student / born in 1992



#### アートコンペ 概要

#### **Art Competition Outline**

#### ■募集要項 Application outline

- ○出品料:無料
- 応募資格
- 1. 個人またはグループ(1グループ1作品までとします)
- 2 国籍は問いません。ただし第2次審査及び展示準備期間に日本 に在住または滞在していること
- 3. 応募書類提出時点で39歳以下の方(グループの場合、メンバー 全員が上記条件を満たすこと)
- 応募作品: ジャンルは問いません。ただし、未発表作品に限ります
- 募集概要: P4を参照のこと

- O Application fee: free
- O Conditions of entry:
- 1. Both individuals and groups can apply (application is limited to one work).
- 2. Persons of any nationality can apply; however, applicants must live or stay in Japan during the 2nd screening and exhibit preparation period.
- 3. Applicants must be 39 years old or under (in case of group application, all members must fulfill the requirements).
- O Works of any genres are welcome but they must be unpublished

展示

O For other application outlines, please refer to the page 4.

#### ■審査の流れ Screening process

募集 / 1次審查 Application / 1st screening



プレ審査にて全応募作品から約1割 10点を1次審査で選出。

2次審查 2nd screening



模型を使ってのプレゼンテーション審

程度の作品を選出後、2次審査に進む 査にて、最終審査に進む作品を選出 し、制作補助金を支給(各100万円)。

Approximately 10% of entries pass the pre-screening and 10 works are selected from the 1st screening (documentary screening). At the 2nd screening, selected contestants give presentations using models. Grant money for production (¥1,000,000) is provided to each finalist before they exhibit >

#### 公開制作 / 最終審査 Production open to public / Final screening



東京ミッドタウンプラザB1通路ガラ



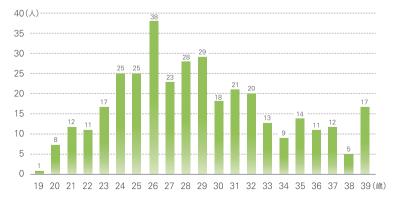


車 京ミッドタウンプラザ B1 メトロアベ スケースでの公開制作後、各賞を ニューにて約半年間展示(一部期間

their works in public in the glass showcase on the B1 level of the Plaza. Tokvo Midtown. After all works are completed, comes the final screening where each prize will be decided. Prize-winning works are exhibited for about 6 months (excluding the period when the advertisement is displayed in the area).

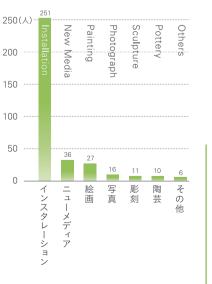
#### ■ 応募者データ Data on applicants

「年齢分布 / Age distribution]



- 応募者数:357名(組)
- 平均年齢:28.8歳 ※ 応募対象年齢(39歳以下)
- 男:180名 / 女:177名
- O Number of applicants: 357 individuals and groups
- O Average age: 28.8 years \* Excluding applicants who did not meet the age requirements (39 and below) at the time of entering the competition.
- O Male applicants: 180 / Female applicants: 177

#### 「応募作品ジャンル分布 / The genre of submitted works]



#### デザインコンペ概要

#### **Design Competition Outline**

#### ■募集要項 Application outline

- ○出品料:無料
- 応募資格
- 1. 個人またはグループ
- 2 国籍は問いません。ただし展示準備期間に日本に在住または滞在 していること
- 3. 応募書類提出時点で39歳以下の方(グループの場合、メンバー 全員が上記条件を満たすこと)
- 応募作品:ジャンルは問いません。ただし、未発表作品に限ります

1次審查

絞り込み)。

1st screening

プレゼンテーションシートによる書類

審査(全応募作品から40作品程度へ

○ 募集概要:P10を参照のこと

- O Application fee: free
- O Conditions of entry:
- 1. Both individuals and groups can apply.
- 2. Persons of any nationality can apply; however, applicants must live or stay in Japan during exhibit preparation period.
- 3. Applicants must be 39 years old or under (in case of group application, all members must fulfill the requirements).
- O Works of any genres are welcome but they must be unpublished
- O For other application outlines, please refer to the page 10.

#### ■ 審査の流れ Screening process

募集 Application



↑審査員特別賞小山薫堂賞、谷口友里歌さんの プレゼンテーションシート。

シートにまとめた作品を募集。

提案をイメージ図やコンセプト文で 表現し、A3のプレゼンテーション

Applicants submit presentation sheet (size: A3). All sheets are carefully screened and narrowed down to 40-50 works at the 1st screening (documentary screening). Selected works are examined and discussed to decide prize-winning works at the final screening. After design - >

# 最終審查 Final screening



書類審査および審議による審査。 審査後、意匠権調査を経て各賞決定。

#### 展示 Exhibition



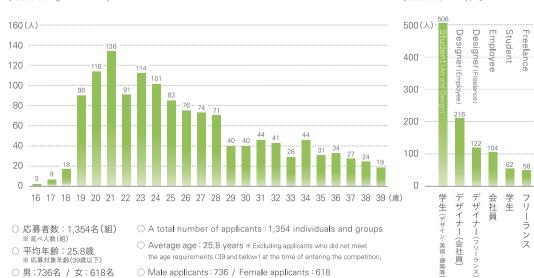
車京ミッドタウン プラザR1メトロアベ ニューにて展示。発表・展示開始後 商品化サポートを提供。

examination is conducted, prize-winning works will be chosen. All prizes are announced and exhibited at the Metro Avenue, on the B1 level of the Plaza, Tokyo Midtown, Finally, Tokyo Midtown provides continuous support in merchandizing award-winning works.

「職業分布 / Job type]

#### ■ 応募者データ Data on applicants

#### 「年齢分布 / Age distribution]



#### 商品化実績

#### Marchandising Record

#### 「さくら石鹸」 Cherry Blossoms Soap

¥1.575

桜の花びらに見立てた薄紅色の石鹸。手のひらで静かに溶けてなくなるその姿は、春になると満開に咲き誇り、やがてはらはらと散って消えゆく桜の繊細な美しさと儚さを感じさせます。天然素材の化粧石鹸素地を一枚ずつ手づくりで仕立てた花のかたちに、日本のおもてなしの心を託しました。

Light-pink tinted soap made to look like cherry-blossom petals. The handmade shapes express the ephemeral beauty of the cherry blossom.

● 問合先 Contact / 株式会社GEL-Design Tel: 011-668-3910



2008年度 一般の部・グランプリ、東京ミッドタウン・オーディエンス賞 / 作家:近藤真弓

#### Fokokoro tape

¥525[1個] / ¥1,029[3個セット]

日本人の謙虚な心をメッセージ化したマスキングテープ。貼るだけで、どんなものでもたちまち"日本のおみやげ"に変身します。人に何かを献上する時「つまらないものですが」と表現する日本人ならではの美意識が伝わるユニークな商品です。和紙製で、簡単に剥がし貼りできます。※♥買酬を称「つまらないものですが」

A masking tape printed with the phrase "Tsumaranai mono desuga" that expresses the humble Japanese spirit. Anything that is covered with this tape immediately becomes a Japanese "omiyage" (gift).

● 問合先 Contact / カモ井加工紙株式会社 Tel: 086-465-5812



2008年度 審査員特別賞 小山薫堂賞 / 作家:冨田知恵

#### 「くつくつした」 Shoe-socks ¥1,260 [写真手前] / ¥1,470 [写真真]

「靴を脱いで上がる」という日本特有の文化を具現化した、靴をデザインした靴下。外国でこれを使用すれば、靴を脱いでいることを知られずにリラックスできるかもしれません。ウィットの効いたギフトとして人気です。財団法人日本産業デザイン振興会主催の「2009年度グッドデザイン賞(Gマーク)」受賞。

Socks designed like shoes, in line with the Japanese culture of taking the shoes off when entering the home. Awarded the "Good Design Award" by the Japan Industrial Design Promotion Organization.

● 問合先 Contact / 砂山靴下株式会社 Tel:03-3692-0371



2008年度 審査員特別賞 内藤廣賞 / 作家:村山譲治

#### 「富士山グラス」 Fujiyama Glass

¥3,776

ビールを注ぐと瞬く間に雪を被った富士山が出現するグラス。台形のシンプルなフォルムに、日本の象徴ともいえる富士山の姿を重ね合わせました。ドリンクの色によって赤富士も黒富士も思いのまま、世界中どこにいても楽しめます。 熟練のガラス職人によって一つずつ丁寧に手作りされた逸品です。 ※受賞時名称「富嶽百九十三景」 When you pour beer into this glass, Mount Fuji instantly appears with the beer froth

When you pour beer into this glass, Mount Fuji instantly appears with the beer froth looking just like the snow on the mountain peak. The simple shape of the glass has been made in the image of Mount Fuji, which is Japan's symbol.

● 問合先 Contact / 菅原工芸硝子株式会社 Tel:03-5468-8131



2008年度 審査員特別賞 水野学賞 / 作家:鈴木啓太

#### TOKYO MAKERI

販売価格未定

東京の風景や名所をモチーフにした付箋紙。建物や自然、人が遠近的に連なって形作られる風景を、書籍に挟むシオリになぞらえました。さまざまな東京の風景を書籍に挟んで、自分だけの"オリジナル東京"をつくることができます。東京観光の新たなおみやげとしても最適なアイデア商品です。

Sticky notes with motifs of Tokyo scenes and popular places. Images of buildings, nature, and people can be stuck on the pages of a book to form a collage-like picture with various perspectives.

● 販売時期未定。最新情報は東京ミッドタウン・オフィシャルサイトをご覧ください。



2009年度 学生の部・グランプリ / 東京ミッドタウン・オーディエンス賞 / 作家:大野恵利

受賞者歴 '08-'09

**Previous Awardees** 

2008年 ■アートコンベ 準グランプリ:桝本佳子「pottery」 / 佳作、東京ミッドタウン・オーディエンス賞:小松宏誠「求愛しつづける時計」 / 佳作:太湯雅晴「ASIAN NOTE」 ■デザインコンベ [一般の部] グランプリ、東京ミッドタウン・オーディエンス賞:近藤真弓「さくら石鹸」 / 準グランプリ:ワビサビ「AIR-BONSAI」 / 佳作:YEN!「よろいて」 ■ [学生の部] グランプリ:望月未来「HINOMARU」 / 準グランプリ:小島 梢「JAPANESE、FACE」 / 佳作:居郷 翔「水引香」 ■ [審査員特別賞] 小山薫堂賞:冨田知恵「つまらないものですが。」 / 柴田文江賞:竹内真里子「Moustache FUJI」 / 内藤 廣賞:村山譲治「〈つくつした」 / 原 研哉賞:鯨井みなみ「Sushi侍すとらっぷ」 / 水野 学賞:鈴木啓太「富嶽百九十三景」

2009年 ■アートコンペ グランブリ: 藤井秀全 'Stain 'Expanse'」/ 準グランブリ: 福本 歩 ' 六本木未来骨重 フクモ陶器」/ 佳作、東京ミッドタウン・オーディエンス賞: 山本麻璃絵「自動販売機のある風景」/ 佳作: 平田 創「Funky Project 09 Japan Colors」 ■デザインコンペ [一般の部] グランブリ: 南 政界 「チョンマゲ羊羹」/ 準グランブリ: 塩土慈恵「笹船DISH」 ■ [学生の部] グランブリ、東京ミッドタウン・オーディエンス賞: 大野恵利「TOKYO MAKER」 準グランプリ: 田中千尋「EAT JAPAN Candy」 ■ [審査員特別賞] 小山薫堂賞: 馬渕 晃「セッタクロック」/ 柴田文江賞: 高木義明「Tape Cutte (Ishigaki), / 内藤 痛賞: 加藤寛之「蕎麦結」/ 原 研哉賞: 高山真中美・伊藤裕平「和柄あめ、/ 水野 学賞: 鈴木貴子「マン菊」

YEAR 2008 Art Competition Runner-up Prize: Keiko Masumoto "pottery" / Commendation Prize, Tokyo Midtown Audience Prize: Kosei Komatsu "Ever-Courting Clock" / Commendation Prize: Masaharu Futoyu "ASIAN NOTE" Design Competition [General Section] Grand Prize; Tokyo Midtown Audience Prize: Mayumi Kondo "Cherry Blossoms Soap" / Runner-up Prize: Wabisabi "AIR-BONSAI" / Commendation Prize: YEN! "Armor T-shirt" [Student Section] Grand Prize: Miki Mochizuki "HINOMARU Paper Weight" / Runner-up Prize: Kozue Kojima "KABUKI Face Pack" / Commendation Prize: Sho Igou "Ribbon String Incense" [Judge's Special Prize] by Kundo KOYAMA: Chie Tomita "Lovely one for you Tape" / by Fumie SHIBATA: Mariko Takeuchi "Moustache FUJI" / by Hiroshi NAITO: Joji Murayama "SHOE-SOCKS" / by Kenya HARA: Minami Kujira "Sushi-Samurai Strao" / by Manabu MIZUNO: Keita Suzuki "FUJIYAMA Glass"

YEAR 2009 Art Competition Grand Prize: Hidemasa Fujii "Stain Expanse" / Runner-up Prize: Ayumi Fukumoto "FUKUMO Pottery-Future Antique Shop in Roppongi-" / Commendation Prize; Tokyo Midtown Audience Prize: Marie Yamamoto "Vending Machines-Japanese everyday scene-" / Commendation Prize: Sou Hirata "Funky Project 09 Japan Colors" Design Competition [General Section] Grand Prize: Masahiro Minami "Topknot Red Bean Paste Jelly" / Runner-up Prize: Chikae Shioji "Sasabune Paper Plate" [Student Section] Grand Prize; Tokyo Midtown Audience Prize: Eri Ohno "TOKYO MAKER" / Runner-up Prize: Chihiro Tanaka "Eat Up at Japan Candy" [Judge's Special Prize] by Kundo KOYAMA: Akira Mabuch "Setta Clock" / by Fumie SHIBATA: Yoshiaki Takagi "Stone-Wall Tape Holder" / by Hiroshi NAITO: Hiroyuki Kato "Soba Tie" / by Kenya HARA: Mayum Takayama, Yuhei Ito "Japanese Pattern Candy" / by Manabu MIZUNO: Takako Suzuki "Manga Photo Frame"